

# プログラム近況報告

2013年度（2012年10月1日～2013年9月30日）

エクアドル共和国 プンガラ地域開発プログラム（ECU-190632）

World Vision

この子を救う。未来を救う。

子どもたちも一緒に活動に参加しています！



国際女性の日を祝うイベントを企画した生徒会の子どもたち

プンガラ地域開発プログラム（以下、ADP）では、特に高齢者の間で結核感染率が高く、そのような環境から子どもたちを守るため、地域の診療所や学校が協力し、結核を予防するための研修を開催しました。この研修を通して子どもたちは、咳をする時はティッシュや手で口をおさえマスクをすること、その後に必ず手を洗うこと、家の中を清潔に保ち、換気を中心がけること、また、予防にはBCGワクチンの接種が大切であることを学びました。

ADPは、国際女性の日を祝うイベントも地域の学校で開催し、生徒会の子どもたちとともに企画や運営を行いました。イベントでは、女性の権利を守ることや、男女平等についての啓発活動が行われ、農村地域の女性たちも、地域開発や農業の生産性向上、地域内の貧困解決のために大きな貢献ができることを改めて確認しました。そのほか、生徒会の生徒たちを中心に、スポーツ大会や文化活動に子どもたちが積極的に取り組めるよう活動をサポートしています。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。

この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長をともに喜んでいただけますと幸いです。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長

片山 信彦

## ADPマネージャーのあいさつ

ブンガラ地域よりごあいさつ申し上げます。

地域の子どもたちや青年とその家族、そして地域の人々への温かいご支援への感謝を込めて、支援の成果をご報告いたします。

ご支援により、地域の子どもたちにとってより良い環境が整えられています。日本では、震災の影響による経済的な困難もあることと思います。そのような中、私たちの地域へのご支援を続けてくださっている皆さまに心より感謝を申し上げます。皆さまの上に、神様の祝福がありますように。

ホルヘ・トゥキング（ブンガラADPマネージャー）

地域の子どもたちとADPマネージャー



## 0～5歳を対象とした事業

ブンガラ地域では住民の栄養に関する知識不足や、ジャガイモやトウモロコシなどの炭水化物に偏った食生活により、栄養不良の子どもが多くいます。ADPでは5歳以下の子どもたちの栄養不良を改善するための活動を、昨年に引き続き地域の人々と協力して行いました。地域の31人の母親たちに対し、妊産婦のケア、母乳育児、乳幼児の予防接種、家庭菜園での野菜の育て方、栄養バランスに配慮した食事の作り方、定期的に乳幼児の身体測定を行うことなどについて研修を行いました。研修を受けた母親たちは、学んだ知識や技術をほかの母親たちへ伝え、地域全体の5歳以下の子どもたちの栄養状況が改善されることを目指しています。

### 【子どもたちの栄養状態が改善され、育児にも自信をもって取り組めるようになりました】

3人の子どもの母親であるマリアさんは、支援活動に参加した感想を次のように話します。

「ワールド・ビジョンの研修に参加し、子どもの衛生管理や栄養価の高い食事の調理法、また子どもに対してどう接するかについて学ぶことができました。子どもたちは以前に比べて病気にかかることも少なくなりました。それに、子どもは体調が悪いときは、なかなか言うことを聞かず、どうしてよいか分からなかったのですが、支援を通じて育児の方法も学び、叩いたり、怒鳴ったりするのではなく、落ち着いて子どもたちと接することができるようになりました。今では、これまでの経験を生かし、地域のお母さんや子どもたちのために何かしたいと思い、ボランティアとして子どもたちがスポンサーに手紙を書くお手伝いをするようになりました。また、ボランティアに参加したおかげで、私自身の読み書きの技術も向上し、子どもたちの宿題を見ることもできるようになり、活動へ参加できて本当に幸せです。日本のスポンサーの皆さまと神様に感謝しています。



マリアさんとマリアさんの子ども



地域の人々の健康に対する意識向上を目的とした健康フェアで、母親たちは研修で学んだ栄養バランスのとれた食事作りを実践しました



健康フェアに参加した地域の人々

## 6～12歳を対象とした事業

エクアドル教育省、プンガラ市役所、国家警察、赤十字、プンガラ地域の教員、保護者が協力し、プンガラ地域の小学生のためにスポーツ大会を開催しました。848人の子どもたちが参加し、5kmマラソンや学校対抗の各種競技を楽しみました。このスポーツ大会では、お互いを尊重することの大切さや男女平等について学ぶことを目的とするとともに、「子どもたちの権利」として、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を地域全体で守っていくことを参加者全体で再確認しました。



スポーツ大会開会式に参加する子どもたち



「私の権利」という大会名で5kmマラソンが行われました

### 【マラソン大会で優勝したフランシスコ君】

二人の男の子の母親のアナスタシアさんは、次男のフランシスコ君を通じて活動に参加するようになりました。

「フランシスコを妊娠していた時、奥歯がとても痛くなり、何も食べられませんでした。日に日に体調が悪化し、ある時保健センターの歯科医に奥歯を二本抜いてもらいました。歯の痛み以外にも、家に十分な食料がなかったため、妊娠中の栄養状態が悪く、フランシスコは未熟児として生まれました。さらに、しばらくしてからダウン症候群と診断され、本当にショックで崖から飛び降りて死んでしまいたいとさえ思う時期がありました。そんな時に、ワールド・ビジョンの保健・衛生についての研修に参加し、障がいを持つ子どものためのリハビリ施設に通えるようになりました。今回、フランシスコはマラソン大会で1位を取ることができました。彼のことを私は誇りに思います。私たちを支えてくださりありがとうございます」



アナスタシアさんと息子のフランシスコ君。障がいを持つ子どもたちのマラソン大会で1位をとることができました

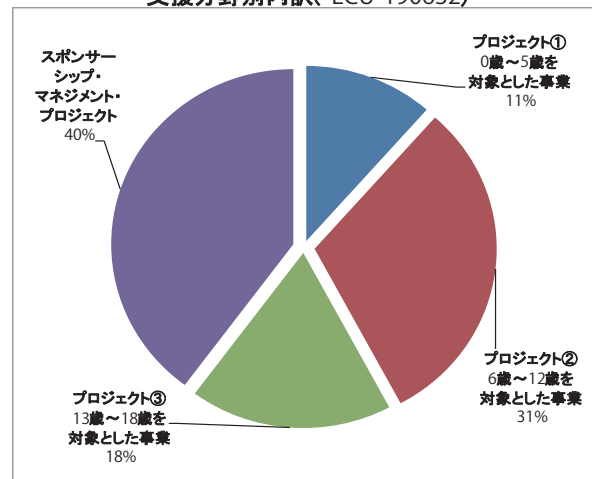
## 会計報告

### 収支計算書

自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

ECU-190632 (単位:円)	
<b>プログラム支援額</b>	
チャイルド・スポンサーシップ	36,674,866
当期支援額	36,674,866
前期繰越金	4,191,778
プログラム支援額合計	40,866,644
<b>プログラム支出額</b>	
プロジェクト①0歳～5歳を対象とした事業	4,536,725
プロジェクト②6歳～12歳を対象とした事業	12,091,951
プロジェクト③13歳～18歳を対象とした事業	7,094,958
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,709,086
プログラム支出額合計	39,432,720
次期繰越額	1,433,924

### 支援分野別内訳( ECU-190632)



## 13～18歳を対象とした事業

ブンガラ地域では、ほとんどすべての家庭がわずかな農地を耕す農民です。農業だけから得られる収入は低く、家庭が経済的に困窮しているが故に勉強を続けられない子どもたち(特に中等教育、高等教育への進学を希望する13～18歳の子どもたち)も多くいます。そういった子どもたちを持つ各家庭が、子どもたちの学費を支払い、子どもたちが勉強を続けられることを目指し、活動を行いました。

チンボラソ郡庁、ブンガラ市役所、エクアドル農牧水産省と協力し、224の家庭を対象として養鶏の基礎に関する研修を実施しました。また、研修とともに、養鶏を始めるために必要な資材(養鶏用の餌、給餌器など)も支給しました。これらの支援を受けた人々は、早速各家庭で養鶏を開始し、得られた卵は家庭で消費するだけでなく、市場で販売することで収入向上にも役立てています。

また、養鶏以外にも27の家庭に対して、乳製品の加工法に関する研修を実施しました。地域の酪農家は長らく牛乳を加工業者に販売してきましたが、自分たちで加工品を作れるようになれば、牛乳を業者に安く買いたたかれることもなく、加工品の直接販売により利益を上げることがもできます。研修を受けた27の家庭はEPYCOという名の組合を組織し、ヨーグルト、チーズ、コンデンスミルク、ジャム等を作り、地域内だけでなく、最も近い都市であるリオバンバ市内でも販売を始めています。

家庭の収入向上が子どもたちの教育費の向上へ、また子どもたちのより良い将来へとつながっていくことが期待されます。



自作のヨーグルトやコンデンスミルクを紹介するEPYCOのメンバー



養鶏プロジェクトにより給餌器を受け取る住民

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。



ブンガラ地域の子どもたち

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話: 03-5334-5351 FAX: 03-5334-5359

e-mail: [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp) ホームページ: [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載してあります。ホームページにぜひお立ち寄りください。

# プログラム近況報告

2013年度 (2012年10月1日～2013年9月30日)

エクアドル共和国 コルタ地域開発プログラム (ECU-196377)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

「子どもの日のお祝い会」が行われ、子どもたちの健全な成長のために  
地域全体で取り組んでいこうという団結力が生まれました



子どもの日のお祝い会に参加した子どもたち

今年度、エクアドルの子どもの日の6月1日に「子どもの日のお祝い会」を開催しました。先住民族の多いコルタ地域では、これまで子どもの日に特別なお祝いをする習慣がありませんでした。そのため、自分たちの存在を祝うイベントに初めて参加した子どもたちは大喜びでした。お祝い会で子どもたちは、子どもの権利、家庭・学校・地域で自分たちには何ができるかを考えたほか、歌や踊り、ゲームなどを楽しみ、地域住民が自主的に持ち寄った料理を食べて、楽しい時を過ごしました。

このイベント開催後、子どもたちがそれぞれの得意分野である音楽や詩などを披露するコンテストや、スポーツ大会などが地域で開かれるようになりました。また、子どもたちが生き生きと成長するために、地域全体で子どもたちを取り巻く環境の改善に取り組むことが大切であると、地域の大人たちは理解するようになりました。地域のこれからを担う子どもたちのために、人々が力を合わせて貢献していくことが期待されています。

## チャイルド・スポンサーの皆さま

日ごろより、チャイルド・スポンサーシップを通して、温かいご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

2013年度の活動報告として「プログラム近況報告」と、チャイルドの「成長報告」をお届けいたします。昨年度も活動を進めることができましたのは、子どもたちを思い、継続的にご支援をくださる皆さまのおかげと、感謝しております。

この1年の地域支援における活動の成果、今後の課題をご確認いただくとともに、チャイルドの成長とともに喜んでいただけますと幸いに存じます。

皆さまのチャイルド、そしてすべての子どもたちが健やかに成長できる地域となることを目指し、活動を続けてまいります。

皆さまの尊いご協力を、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人  
ワールド・ビジョン・ジャパン  
常務理事・事務局長

片山 信彦

## ADPマネージャーのあいさつ



地域の子どもたちとコルタADPマネージャー(写真中央後方)

コルタ地域開発プログラム(以下、ADP)のリーダーとして、スポンサーの皆さまにこのようにご挨拶できることを大変嬉しく思います。

私たちの活動は、地域の行政機関との連携が不可欠ですが、2013年度コルタ市では、特にインフラの整備が優先され、子どもたちの健全な成長に必要な政策が後回しにされがちでした。また、豊かな生活を求めて、首都などに移住する住民が多いという課題もあります。しかし、今後も各村の住民やリーダー、行政機関などと協力し、ともに活動の計画、実施、評価などを行うことを通してお互いの理解を深め合うことを大切に、子どもたちを中心としたより良い地域づくりを目指し活動を進めてまいります。

コルタ地域の子どもたちが希望に満ちた人生を歩めることを、そして、ご支援くださっているスポンサーの皆さまとご家族に豊かな祝福があることをお祈りいたします。

ウィルメル・オルティス (コルタADPマネージャー)

## 0～5歳を対象とした事業



家庭菜園の支援を受けた家庭の子ども。菜園設置のための技術指導や種子、肥料などの支援を受けました

コルタ地域はアンデス山脈の中腹に位置し、厳しい自然環境やインフラ整備の欠如などから経済的に貧しい先住民族が人口のほとんどを占めています。経済的な貧しさは子どもたちの健康状態にも悪い影響を与えており、2010年に行った基礎調査によると、5歳以下の子どもの約49%が低体重で年齢に対して体重が低く、約68%が年齢に対して身長が低い発育不良であることが分かりました。

今年度は、26の村で300名の保護者に対し、子どもの成長に必要な栄養についての知識と栄養バランスのとれた食事の調理法についての研修を行いました。また、150の家庭が家庭菜園を始めました。各家庭で少量ずつ、種類豊富に野菜を育て、その野菜を食べることで、子どもたちが栄養バランスのとれた食事をとれるようになることを目指しています。



家庭菜園の設置方法について学ぶ地域の人々

### 【メルセデスちゃんの栄養改善】

ルスさん(21歳)は、両親と4人の兄弟、娘のメルセデスちゃんと暮らしています。「19歳のとき、私はシングルマザーになりました。妊娠中に妊婦健診を受けず、しっかり栄養をとらなかったため、娘のメルセデスはお腹の中で十分に成長できず、生まれてからも健康上の問題を多く抱えていました。また、私も家族も十分な収入を得ておらず、メルセデスの将来が心配でした。そのような時、ワールド・ビジョンの活動を知りました。スタッフは私を常に励まし、娘の健康診断、ビタミン補助剤、母乳で足りない栄養を補うための粉ミルクを支援してくれました。また、支援された8匹のクイ(食用モルモット)を育て、繁殖して増えたものの一部を娘が食べて栄養をとり、また一部を市場で売って現金収入を得られるようにもなりました。娘は2歳になり、とても元気に育っています。子育てに悩んだ時期もありましたが、今は彼女のことを心から愛しています。また、私の生きる希望にもなっています」



ルスさんとメルセデスちゃん

## 6～12歳を対象とした事業

地域の保健局、教育局、コルタ市役所と協力し、学校の教師や子どもたちに対し、学校を清潔に保つための清掃方法やゴミの分別、リサイクルについての研修を行いました。参加した17校3,028人の教師と子どもたちは、毎日多くの時間を過ごす学校や自分の家を清潔に保つことで、病気を予防することができることや、分別した後の生ゴミを堆肥にし家庭菜園で利用することなどを学び、地域で実践しています。



教師および学生団体に対する研修の様子



学校での研修の様子

### 【身だしなみを整え清潔に保つことを学びました】

マリアさんは6歳のバイロン君と一緒に、先住民族の村で暮らしています。

「これまで、家を掃除したり、子どもたちの手洗い・身だしなみを清潔に保つことが子どもたちの健康にとって大切であるということを知りませんでした。息子は、石けんで手を洗うこと、爪を切ること、髪をとかすこと、といった身だしなみを整えることについて研修で学び、我が家でも実践するようになりました」

バイロン君も次のように話します。「今では、お父さんとお母さん、兄弟もご飯を食べる前やトイレに行った後には必ず手を洗っているよ。それに、学校に行く前には頭や顔も洗うようになったんだ」



バイロン君と母親のマリアさん

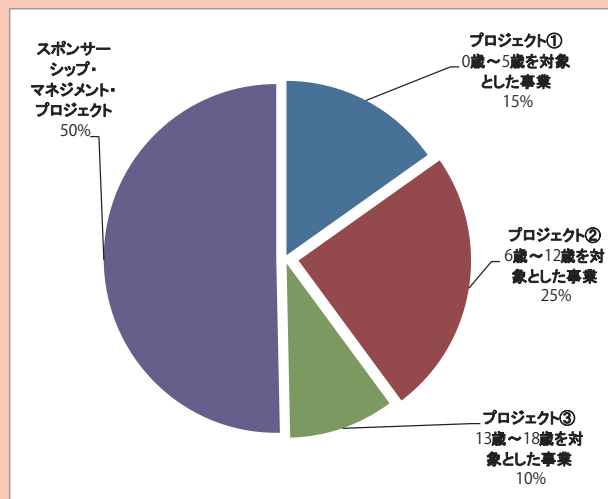
### 会計報告

#### 収支計算書

自 2012年10月1日 至 2013年9月30日

プログラム支援額		ECU-196377 (単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ		15,519,926
当期支援額		15,519,926
前期繰越金		3,899,039
プログラム支援額合計		19,418,965
プログラム支出額		
プロジェクト①0歳～5歳を対象とした事業		2,884,914
プロジェクト②6歳～12歳を対象とした事業		4,647,756
プロジェクト③13歳～18歳を対象とした事業		1,861,588
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト		9,520,969
プログラム支出額合計		18,915,227
次期繰越額		503,738

#### 支援分野別内訳( ECU-196377)



事業開始から比較の日が浅いため、チャイルド・スポンサーシップの目的、仕組みや子どもの権利保護に関する住民への研修に力を入れており、スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクトの割合が高くなっています。

## 13～18歳を対象とした事業

コルタ地域をはじめエクアドルでは、10代の妊娠が大きな問題となっています。15-19歳の女性のうち約17%が妊娠を経験しており(エクアドル保健省より)、性的虐待や性教育の欠如などの理由による、望まない妊娠も少なくありません。また、この結果、学校に通うことをあきらめる若者や、母子家庭も相当数みられます。この状況を改善するため、今年度、保健省、教育省のほか地域の中学校や高校と協力し、性と生殖に関する健康をテーマとした中高生向けの研修を開催しました。コルタ地域のような農村では、日常生活で性に関する話題はタブーとされています。研修を通して、これまで知ることのなかった正しい知識を学び、学んだ内容を実践し、自分自身や相手に対して責任ある行動をとれるよう後押ししています。



地域の保健スタッフから性に関する知識を学ぶ若者たち



若者向けの研修の様子



研修に参加した若者たち

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

「スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト」では、チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。そのため、チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、さらに地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行っています。また、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、その支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。



コルタ地域の子ども

お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

電話: 03-5334-5351 FAX: 03-5334-5359

e-mail: [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp) ホームページ: [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動についての最新情報を掲載してあります。ホームページにぜひお立ち寄りください。